

平成24年度事業報告書

自：平成24年4月1日

至：平成25年3月31日

— 概 要 —

平成24年5月1日、約3年間に及んだ訴訟の判決が確定し、5月7日より協会の再建に向けて始動することとなったが、当年度の大半は、約3年間に及ぶ協会運営の混乱に対する状況把握と現状対応に追われることとなった。

約3年間に及ぶ協会運営の混乱の際、執行部と称した方々により、当協会の基本財産のうち4,000万円が不当に取崩し・流用されており、監督官庁である文部科学省からの指導に基づき、流用額4,000万円を来る平成25年3月末までに2,000万円、6月末までに2,000万円を補填する計画を提出していた。しかしながら、平成25年3月末に示した補填額は2,000万円に届かない状況であり、補填が達成できない可能性が高い。

また、上部団体である（公財）日本体育協会より勧告処分が下され、当協会は改善計画書を提出しこれを履行しなければならず、（公財）日本オリンピック委員会については、平成21年度より加盟団体として受けることのできる権利一切を保留されており、平成24年度も同処分が解除に至っておらず、4年間継続していることとなる。

— 事業の状況 —

本会定款第5条に基づき、以下の通り諸事業を実施した。

(1) クレー射撃の普及及び指導

1. 広報事業

- ◆機関誌「ザ・シューターズ」発行：第269・270号 発行
- ◆協会ホームページによる情報提供

2. 本会加盟部会への助成（学連、ランニング・ターゲット、芸文）

- ◆日本学生クレ射撃連盟、ランニング・ターゲット（RT）部会、芸能文化人ガンクラブへの助成金交付

3. 公認射撃場指導員、地方協会クレセット員への指導

- ◆射撃場指導員新規・更新登録

4. 各種推薦業務の実施、射手手帳の配布

- ◆ライフル銃（大口徑・小口径）所持推薦 18件
- ◆未成年者散弾銃所持推薦 9件
- ◆技能講習免除推薦 210件
- ◆ランニング・ターゲット認定証 10件
- ◆会員手帳（装弾の購入・消費実績欄新設）配布

5. 第67回岐阜国体への参加

- ◆平成24年10月4～8日：白川射撃場

(2) クレ射撃の全日本選手権大会、及びその他の競技会の開催

1. 公式大会開催事業

（春夏秋冬本部公式大会、全日本選手権大会、地方公式大会、RT公式大会の開催等）
次の通り、各競技会を実施した。

◆春季本部公式大会

平成24年5月19日～20日：岡山県クレ射撃場
トラップ62名、スキート40名 計102名

◆夏季本部公式大会

平成23年7月7～8日：花巻市クレ射撃場
トラップ54名、スキート36名 計90名

◆秋季本部公式大会

平成24年9月8～9日：宮城県クレ射撃場
トラップ80名、スキート22名 計102名

◆冬季本部公式大会

平成25年3月23～24日：成田射撃場

トラップ39名、スキート15名 計54名

◆全日本選手権大会

平成24年10月26～28日：福岡県立総合射撃場

トラップ60名、スキート36名 計96名

◆その他 地方公式大会：283大会開催、RT大会：7大会開催

(3) クレー射撃の国際競技会等への代表参加者の選定及び派遣

次の通り、国際競技会2大会へ選手団を派遣。

◆タイ・オープン大会（バンコク市）派遣

平成24年10月25～26日

トラップ：男子3名

◆アジアクレー射撃選手権インド大会（パティアラ市）派遣

平成24年11月28日～12月9日

トラップ：男子3名

スキート：男子2名、女子1名

(* JOC派遣)

◆第30回夏季オリンピック大会（ロンドン）

JOC派遣によりトラップ女子種目へ中山由起枝選手が参加（予選15位）。

(4) クレー射撃に関する指導者及び審判員養成並びにその資格の認定

1. ブロック講習会開催による審判員の養成等

◆ブロック講習会（計7回実施）

北海道	平成24年	5月19日	帯広総合クレー射撃場
	平成24年	8月4日	浦臼国際散弾銃射撃場
東北	平成24年	8月18日	花巻市クレー射撃場
関東	平成24年	4月28日	成田射撃場
近畿	平成25年	3月24日	大阪総合射撃場
中国	平成24年	4月21日	島根大東クレー射撃場
九州	平成24年	10月25日	福岡県立総合射撃場

2. 国際審判員

国際ライセンス保持者のうち、国際スポーツ射撃連盟（ISSF）ヘジャッジライセンス6名・レフェリーライセンス12名を更新手続き。

(5) クレー射撃に関する施設、用具等の検定及び認定

◆装弾、クレー標的、射撃場、放出機、スコアボードの検定・公認

国産・輸入クレー検定会、公認射撃場検定の実施

射撃場新規公認1件（羽黒射撃場）、公認更新33件

公認クレー標的検定会、公認装弾検定会実施

(6) クレー射撃の競技力向上に関する事業

1. 強化合宿事業

オリンピック対策事業：海外合宿（イタリア）

国内合宿（北海道2回）

2. 本会加盟部会への強化事業（学連・RT部会への強化交付金配布）

日本学生クレー射撃連盟、RT部会へ強化交付金を交付。

(7) 段級位の審査及び称号の授与

◆段級位審査事業（段級位審査会の実施、名誉段位の認定等）

各本部公式大会及びA級地方公式大会における段級位審査会を実施。

今年度は2級1名、1級4名、初段22名、2段16名、3段8名、5段1名を新たに登録、該当会員へ認定証及びバッジを交付。

(8) クレー射撃に関する記録の公認

◆公式大会開催事業（年間ランキング表、地方公式大会日程表の作成等）

例年通り年間ランキング表、地方公式大会日程表を作成。

(11) 日本クレー射撃界を代表して、財団法人日本体育協会、財団法人日本オリンピック委員会及びクレー射撃競技に関する国際競技団体への加盟

◆公益財団法人 日本体育協会

平成24年9月21日、勧告処分通知を受け、10月22日、改善計画書を提出。

◆公益財団法人 日本オリンピック委員会

平成21年度より加盟団体としての権利一切を留保されており、今年度も継続中。

◆アジアクレー射撃連盟（ACSF）

平成24年7月16日、タイ・バンコク市においてACSF会長ナット氏、事務局長スプチャイ氏らと面談。当協会が平成21年度のアジアクレー射撃選手権大会ホスト国を一方的に辞退したことについて謝罪し、およそ3年に及ぶ訴訟等の経緯について報告説明。

(12) その他、目的を達成するために必要な事業

◆資格審査事業（会員資格の審査等）

新規会員225名の審査、国体出場表彰申請者の資格を審査し、30回表彰1名、20回表彰2名、10回表彰9名を承認。

◆奨励金事業（優秀選手への奨励）

個人奨励金

1. 本部公式大会

3A 99点1名、98点1名、96点3名

50ストレート4名（トラップ2名、スキート2名）

2. 地方公式大会

50ストレート13名（トラップ10名、スキート3名）

75ストレート1名（スキート）

3. 全日本選手権大会

優勝者：トラップ
スキート

中山 由起枝（茨 城）
折原 研二 （栃 木）

(13) 会員の増減

平成24年度の会員数については2,477名（内訳：新入会員225名、継続会員2,252名）の登録となり、昨年度の会員数と比較して27名の増加となった。

以 上